

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 27日

事業所名 CoCo

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	2か所の訓練室と戸外を使用し、出来るだけ広くスペースを使えるようにしている。	運営規定を満たしており、パーテーションの使用も行い、安心・集中して取り組めるようにしています。また駐車場をコンクリートにすることで、戸外活動と室内活動で分けて過ごせるようになっています
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	必要とされる配置数に加え、それ以上の職員を配置しています。	職員全員が、日々スキルアップ出来るよう、研修体制を整え、引き続き取り組んでまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	入口はバリアフリーになっており、トイレ・階段には手すりをつけています。	環境整備を心掛けてまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	92%	8%	会議や支援終了後、振り返りを行い、職員間で共通認識を持って支援で	支援の質の向上に向けて、様々な研修を参考に進めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者様から頂いたアンケートにより改善に繋がっていきます。	改善が必要な問題についてより良い環境作りができるように取り組んでまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて公開しています。	引き続き、ホームページにてお知らせさせて頂きま
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	92%	8%	現時点では外部評価は行っていません。	今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	積極的に研修へ参加し、報告も行っていきます。	常に新しい情報に目を向け、職員のスキルアップを目指しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	現状を把握したうえで、アセスメントを行い、計画を立てさせて頂いていま	ご本人・ご家族様の困りごとの解決に向け、また楽しかったと言われるような計画書の作成が出来よう努めてまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	使用しています。	定期的にツールが適切なのか見直しを行い、必要な際は内容の変更をおこなっています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	会議や日々の支援の中で、話し合っています。	外部からの情報収集を行い、さらに充実したプログラムが出来よう、話し合いを進めていきたいと思
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	1人ひとりの理解や行動に合わせて変化、また楽しめるよう工夫を行っています。	成長に合わせてながら、楽しみ取り組めるプログラムの提供をしていきます。しかし、本人の状況に合わせて、気持ちの安定のために必要な際には固定化も行
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	利用時間に合わせて設定しています。	課題・目標を検討・共有し、効果的な支援を進めてい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	相談支援員と共有し、保護者さまと話し合うと共に、本人の様子も考え、活動の目的・個人の配慮	学校行事などの状況の把握を行い、お子様の様子も合わせ、個別と集団の活動の割合を考えていき
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	点・対応方法・環境設定・配置などは、文字や図	職員間での打ち合わせ、意見交換を引き続き行って
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終了後には必ず振り返りを行っています。送迎等で不在の職員は管理者や児発管に伝えると共に、振り返りの報告も伝え、個人の記録表に記載し、全員が把握出来るようにしています。	引き続き、強みを伸ばしていけるよう支援に繋がって
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	記録を取る際に意見交換を取り入れ、内容の正確さを図っていきます。	支援終了後に記録を行い、支援に対しての反応などから改善点を見い出せるようにしています。その後職員間での話し合い、共有しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的に行なっています。変化が見られた場合や必要に応じて見直しを行っています。	成長や現状に目を向け、個々に寄り添った計画書の作成を行って
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	ガイドラインの基本活動を複数組み合わせ合わせて支援しています。	成功体験を通じて、自己肯定感を高めていけるような活動を取り組んで	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	管理者または児童発達支援管理責任者、児童指導員が参加しています。	担当者会議だけでなく、相談支援員への連絡・報告を行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	保護者様より行事や下校時間等の情報を頂いています。気になることは、送	引き続き、学校との関係性など児童の周りの環境を大切にしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	92%	8%	現時点で医療的ケアが必要な児童の利用がない為、行っていません。利用される際には、体制を整えていきたい。	利用があった際には体制を整え、安心して利用できるよう努めさせていただきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	92%	8%	保護者様より情報を頂いています。	今後、必要な際には情報共有の義務めさせていただきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	相談支援を通して、情報提供を行っています。	関係機関での情報共有に努めています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	92%	8%	研修は出来る限り参加しています。	引き続き研修への参加を行い、アドバイスを頂き、支援の構築をおこなってまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	92%	8%	感染防止に努めながら、出来る限り地域のイベントに参加しています。	今後も状況を見て、安全と思える行事には参加し、地域の方との交流をもてるようにしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	出来る限り参加しています。	引き続き、可能な限り参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時に伝えさせていただき、気になることは電話等で、お話し	引き続き、情報交換を行ってまいります。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	92%	8%	支援のフィードバック時に、ご家庭での対応方法を伝えさせて頂いています。	職員の専門性を高め、保護者様への情報提供が出来るよう、研修への参加を引き続き行ってまいります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	利用契約時に説明させて頂いています。	ご不明な点がある時にはその都度説明させて頂きます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	一緒に考え、対応の提案をさせて頂いています。	適切な支援方法を伝える事が出来るよう、情報収集や研修への参加を積極的に行ってまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	83%	17%	感染防止の概念から中止している。	イベントや研修の企画を行い、保護者様に参加して頂けたらと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	職員への聞き取りを行い、状況・対応方法をすぐに説明させて頂いています。職員間で共有し改善に繋げています。	日頃から信頼関係にも力を入れ、すぐに話して頂けるよう努めさせて頂きます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	ホームページを使用しています。	引き続きホームページでの日頃の活動の様子や緊急時対応のマニュアル等の情報を発信させて頂きます。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	必ず鍵付きの所へ保管し、鍵の管理も十分に注意している。	第三者への情報提供が必要な際には、ご本人・ご家族の了解を得た上で行います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	連絡帳や送迎時、訪問や来所時、電話等で状況や課題を共有しています。児童に合った伝達方法を行っています。	引き続き、一人ひとりに合ったコミュニケーション方法を行ってまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	8%	感染防止の概念から行っていない。	今後、事業所を知ってもらえるよう努めてまいります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	全てのマニュアルはホームページに掲載し、いつでも確認して頂けます。	引き続きホームページに掲載させていただきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年間計画のもと避難訓練を行うと共に、備蓄の確認を行っています。	今後も災害に備え、訓練を続けていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	研修が開催されるたびに参加し、報告を行っている。また、所内研修も取り組んでいます。	虐待防止への意識が高まるよう、虐待に綱華恐れのある事案など、常に話し合い、慎重に進めさせていただきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	92%	8%	身体拘束が必要な児童がいない為、計画書への記載はない。	今後必要な場合には、状況やタイミング、方法や時間など何度も話し合いを重ね、計画書への記載も含め、慎重に進めさせていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギー除去を行っている。	引き続き、医師の指示書に基づき、調理方法など細かく確認し、安心して食べて頂けるようにしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	いつでも見れるように保管しており、会議でもヒヤリハットを使用し、情報共有・対策を話し合っている。	引き続き、ヒヤリハットを活用し、職員間で周知してまいります。